

特別支援学校学習指導要領解説

児童生徒の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動を適切に指導するもの

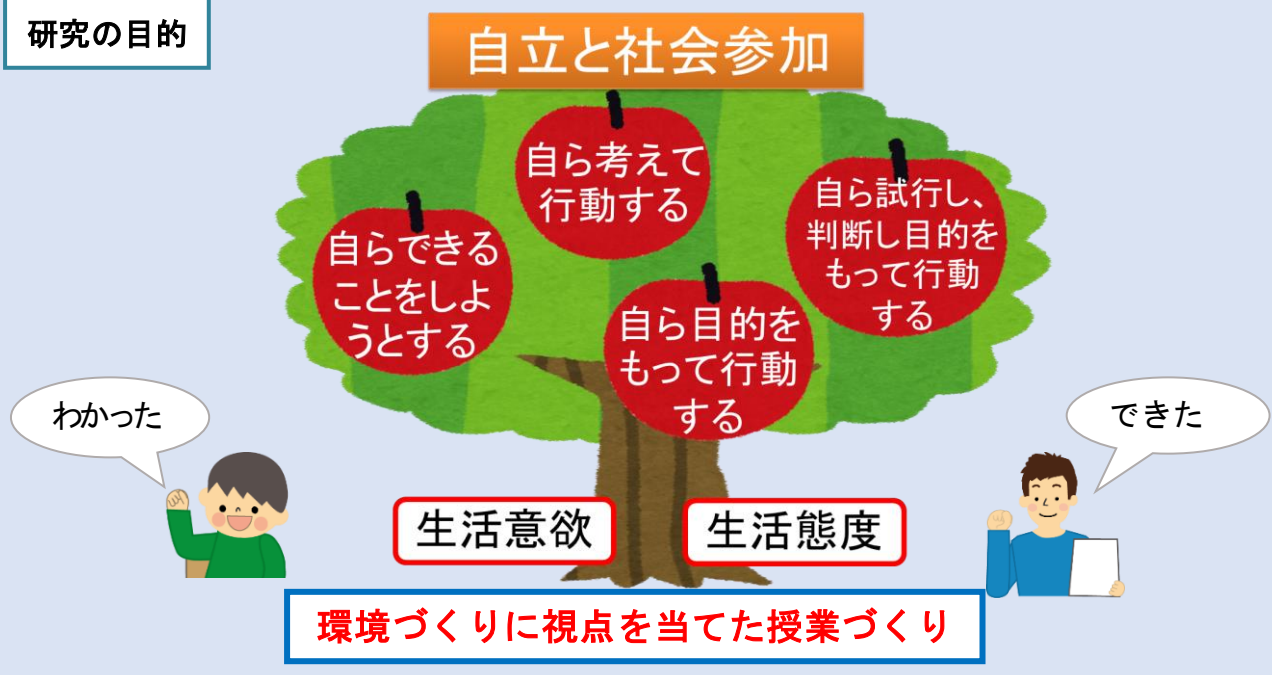
日常生活の指導の手引

身辺生活の処理に関わる技能を高めることに留まらず、日常生活をより自立的・発展的に行うための生活意欲や生活態度を育てること

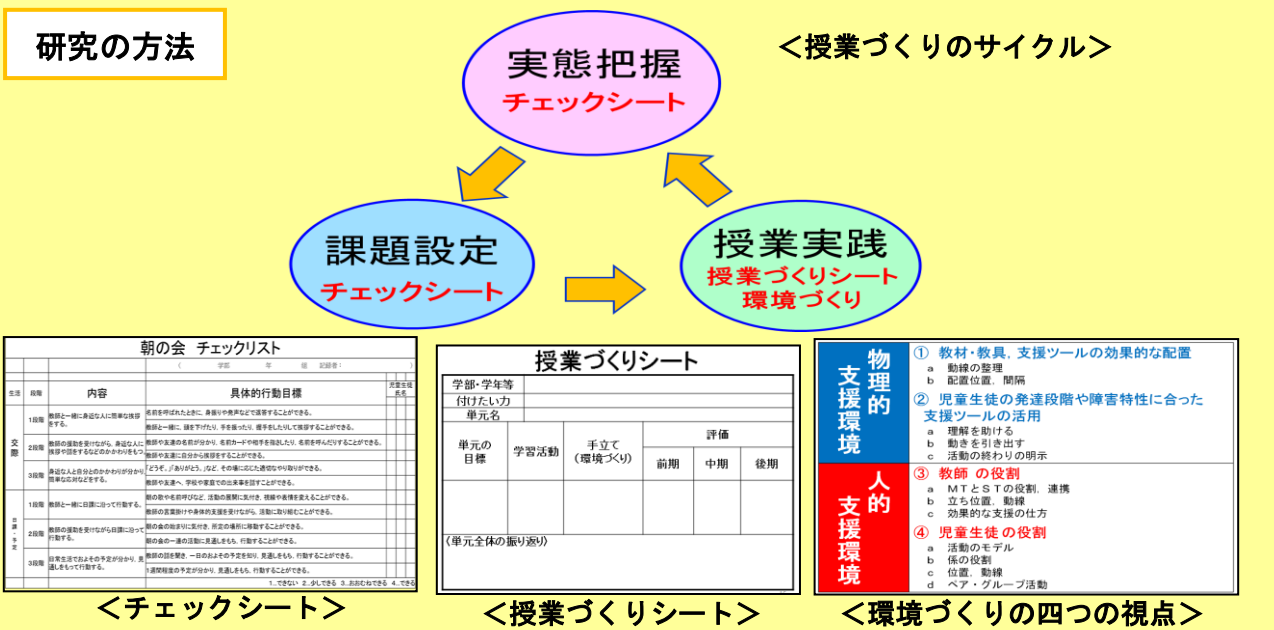
学校教育目標

児童生徒の自立と社会参加を目指し、一人一人の力を伸ばして、主体性をもって豊かに生きる人間を育てる。

研究の目的



研究の方法



学年	内容	具体的行動目標	授業実践
1年級	朝の会と一緒に身近な人に関わる挨拶をする。	挨拶を求められたときに、身振りで挨拶などで返答することができる。	
2年級	朝の会活動を通して、友達と挨拶や挨拶をするなどのかかわりがあがる。	朝の会と一緒に、挨拶をする。手振りで挨拶をしながら挨拶することができる。	
3年級	身近な人と自分ひとりのかかわりがあがる。	「どうぞ、よろしくお願いします。」など、その場に応じた挨拶や呼びかけができる。	
4年級	朝の会と一緒に活動によって行動する。	朝の会や友達へ、学校や教室での出来事報告することができる。	
5年級	朝の会を通して活動によって行動する。	朝の会や友達など、活動の役割に役割を担い、役割や表情を表わすことができる。	
6年級	朝の会を通して活動によって行動する。	朝の会や友達と、学校や教室での出来事報告することができる。	
7年級	朝の会を通して活動によって行動する。	朝の会や友達と、学校や教室での出来事報告することができる。	
8年級	朝の会を通して活動によって行動する。	朝の会や友達と、学校や教室での出来事報告することができる。	
9年級	朝の会を通して活動によって行動する。	朝の会や友達と、学校や教室での出来事報告することができる。	

学級・学年等	単元名	学習活動	手立て (環境づくり)	評価
				前期 中期 後期
(単元全体の振り返り)				

物理的支援環境	人的支援環境
① 教材・教具、支援ツールの効果的な配置 a 動線の整理 b 配置位置、間隔 ② 児童生徒の発達段階や障害特性に合った支援ツールの活用 a 理解を助ける b 動きを引出す c 活動の終わりの明示	③ 教師の役割 a M T と S T の役割、連携 b 立ち位置、動線 c 効果的な支援の仕方 ④ 児童生徒の役割 a 活動のモデル b 係の役割 c 位置、動線 d ペア・グループ活動

<チェックシート> <授業づくりシート> <環境づくりの四つの視点> 【研究の概念図】